

人と自然が調和した持続可能な街づくりとの連携

MIRAI を創る！

千葉県立木更津東高等学校

本校は全日制普通科と家政科、定時制夜間部普通科のある学校です。

全日制は、創立113年目を迎える長い歴史の中で培われた女子校で、普通科、家政科合わせて457名、定時制は、創立73年目を迎える男女共学の普通科67名の生徒が在籍しています。全日制は地域社会の発展に貢献できる品格のある生徒の育成に努めており、部活動、文化祭、体育祭、地域との連携行事が盛んに行われており、それらの活動を通して豊かな人間性と自主性が育まれています。

本校が今回「魅力ある県立学校づくり大賞」へ応募した内容は、未来を担う子どもたちの夢をサポートする活動や、学校と地域、企業との連携をとおして、持続可能な未来の実現に向けて生産から販売までを体験して地域を活性化することに取り組んだものです。

概要は、プロジェクト1として、「子どもが主役のファッションショー」～未来の子供たちのために種をまく～として家政科の生徒が、小、中学校の児童生徒30人の公募モデルに合わせた服のデザインを考え、衣装を製作して発表する内容となっており、一人ひとりの違った個性のある衣装とヘアメイクを行い、本番はステージ脇まで付き添い、子どもたちをサポートする内容です。

この取組に参加した児童生徒からは、「すごく優しいお姉さん、今でも大、大、大好きです。担当でないお姉さんも声をかけてくれてうれしかったです。」など、感動の声が多く上がっています。保護者や地域の方々からは、「楽しみにしている娘の様子を見ていて家族も幸せな時間でした。このような機会をいただき、ありがとうございました。」「素晴らしい企画でした。まさに子どもたちが主役でしたね。これからを担う子供たちの未来は明るいなと感じました。」などといった感想が届きました。更に、「ファッションショーで着ていた作品を間近で見たいので展示会をやって欲しいです。」という市民の方からの声にお応えして展示会とワークショップを開催するなど、当初想定していなかった成果もありました。



KISARAZU COLLECTION 2022 FASHION SHOW テーマは未来



木更津市制施行80周年記念事業
2022年11月3日開催

子どもたちが主役のファッションショー

プロジェクト2として、環境の負荷軽減を目指す循環型農業を学び、地域企業との連携による商品開発を行いました。この2つのプロジェクトを通じて、学校の活性化、パートナーシップ、SDGsの意識を持ち、未来につながるビジョンを感じることができました。

これらの取り組みは、各報道機関に取り上げられるなど、大きな反響を呼びました。

今後は、本校の特徴を生かして、この取り組みを発展させ、多くの方に知っていただくと同時に、生活に役立つ情報も継続的に発信し、地域のために積極的に取り組んでまいります。ご期待ください。